

第5期 財団法人こしじ水と緑の会事業報告

(平成 16 年 10 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

はじめに

第5期は、中心活動である助成活動の他に、当財団の独自事業の一つである「里山整備事業」について、新たな方向づけを求め、第6期への具体化につなげる年度であった。第6期は、財団自らが山林を取得する見込みであり、自然学校事業もこの山林の活用を見込んでいる。下半期を終わり、事業の進捗を以下の通り報告する。

また、第5期は中越大震災に見舞われ、前半は財団事務局も復旧に追われたが、後半には当初の主要計画にほぼ追いつくことができた。内外からいただいた支援に感謝したい。

1. 助成事業

助成事業として、「第4回朝日酒造・自然保護助成基金」として実施した。

全23件の申請を受付、15件に対して助成を決定した。なお、詳細は以下のとおり。

(1) 一般助成（公募を行い、選考委員会で決定）

- ・応募期間：平成16年12月1日～平成17年1月31日
- ・選考：選考委員会にて選考の上、決定。
- ・交付：平成17年4月2日（土）に助成金交付式を開催。
- ・助成金総額：4,285,950円

「第4回(財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」助成先一覧 申請受付順（敬称略）

No.	団体名	決定額	活動名
1	通船川・栗ノ木川ルネッサンス	300,000	川から学ぶ地域学「子ども環境会議」
2	松之山町水生生物自然利活用研究会	300,000	住民参加による水辺の外來種・希少種の分布調査と希少種の保全のための淡水生態系の整備
3	柴田 治	300,000	吉祥嶽の植物
4	NPO 法人加治川ネット21	300,000	加治川流域の環境学習用資料の作成
5	NPO 法人溪流再生フォーラム	270,000	葡萄川再生事業
6	NPO 法人新潟水辺の会	300,000	「通船川・栗ノ木川の新旧住民が取り組むまちの川再生事業」支援プロジェクト
7	「セナミスミレ」を育む会	280,000	セナミスミレの保護増殖及び啓発活動
8	子どもたちのための古民家再生委員会	250,000	子供たちのための古民家再生と「自然学校」の運営
9	布野 隆之	300,000	希少猛禽類イヌワシ <i>Aquila chrysaetos japonica</i> の保全－餌環境の整備に向けて－
10	五泉トゲソを守る会	300,000	休耕田を活用したイバラトミヨの生息地計画づくりと湧水の里づくり活動
11	渡海ほたるの会	189,000	ホテルと里山復活活動（里山循環システムの復活）
12	NPO 法人ブナ友の会	300,000	五頭スキー場森林復原事業
13	環境NGO 魚沼フィールドミュージアム協会	297,950	河川の構造と機能から見た魚沼地域のアカザの生息環境に関する調査研究
14	信濃川をよみがえらせる会	300,000	信濃川中流域減水問題に関するビデオ製作
15	生物多様性保全ネットワーク新潟	299,000	生物多様性保全の普及活動

2. 調査研究事業

(1) 里山の保護・保全活動

①「越路の里山を考える会」の開催

山林の荒廃に代表される「里山問題」について、中静理事から提言をいただいた「越路モデル」の在り方を深めることを目的として、旧越路町の昔の山の暮らしを知る地元の識者と越路の里山をテーマに懇談会を開催した。越路の里山をめぐる意見が交わされ、地元材で例えば学校をつくる活動等、具体目標を掲げる有効性について意見の一致を見た。

事業名：越路の里山を考える会（副題：里山の秋を楽しむ会）

期 日：平成 16 年 10 月 21 日（木）

会 場：旧越路町岩田、個人所有の山小屋

出席者：12 名

②「朝日城の森」巡検

事業名：山地林巡検

財団の取得候補地の一つとして、朝日城址周辺の山林地を巡検した。候補地として、取得を仮定して継続調査を行なうことを確認した。

期 日：平成 17 年 5 月 25 日（水）

会 場：旧越路町朝日、朝日城址

出席者：3 名

③「第 3 回 越路の里山を考える会」の開催

第 3 期から継続開催。「こしじモデル」につなげるべく、昨秋に掲げた活動方針は震災により根底から見直しを迫られたことについて、震災以後の影響や市町村合併の影響等を勘案した。まず具体的な活動に着手すべく財団自らが山林地を取得することについて、候補地を巡検、意見を交わした。

事業名：第 3 回 越路の里山を考える会

期 日：平成 17 年 7 月 26 日（木）

会 場：朝日酒造(株)会議室及び旧越路町朝日、朝日城址の山林地。

出席者：9 名

④朝日城址の取得に向けた活動

事務局にて、専門家の協力を得ながら取得に向けた当該山地の調査を行なった。

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| a. 地権者説明会 | 7 月 6 日（水） |
| b. 地権者境界立会い | 7 月 10 日（日） |
| c. 経済林木（スギ等）の全数について計測を行なう | 7 月 25 日（月）～8 月 12 日（金） |
| d. 計測値より取得のための希望価を立案した | 8 月 17 日（水）～8 月 31 日（水） |

(2) 渋海川流域の調査研究活動

第 3 期より、新潟大学工学部大学院生への「渋海川流域」の委託調査研究を継続している。

第 5 期においては、第 4 期分の委託調査費で賄われたため、予算の計上はされなかったが、第 6 期にて再計上の予定である。

3. 普及啓発活動

(1) 水と緑を尊ぶ心を育てる自然学校事業

水と緑の自然環境を大切にする心を育む環境教育に関する事業として、子どもたちを対象とした自然学校の運営をはかり、自然と自然、人と自然、人と人との関係を深め、水と緑を尊ぶ心を育てることを目的に、第5期も新潟県内で自然体験活動を進めている有力な4団体と事業連携を結び、子どもたちに豊かな自然体験の場を提供するために「水と緑の自然学校」を年4回（内、1回は昨年期の延期分）の開催を行なった。なお、当初予定した8月開催予定の「行ってみよう！子ども樹木博士学校」は、今期中止となった。第6期にて、財団主催の形態にて越路地内での実施の方向で調整することとした。

参加者総数：第5期	総参加者	90名（全4回中）	第4期	総参加者	172名（全6回中）
	子ども	38名		子ども	61名
	大人	52名		大人	111名

■自然学校の開催実績

期 日	内 容	事業連携団体	行 程
平成17年3月 5日～3月 6日	雪と遊ぶ自然学校	キュービットパレイ	1泊2日
平成17年6月25日～6月26日	里山から海へ、コモコメランド海へ行く	魚沼フィールドミュージアム協会	1泊2日
平成17年8月20日～8月21日	親子で楽しむ自然体験学校	新潟県ネイチャーゲーム協会	1泊2日
平成17年9月17日～9月18日	ツリーハウスでキャンプ～里山の緑と遊ぶ自然学校	NPO 法人木と遊ぶ研究所	1泊2日

(2) 会報の発行

会報を年6回奇数月に定期発行した。

- | | | |
|---------------|-------------|--------|
| ① 平成16年11月15日 | 第13号発行（A4版） | 1,000部 |
| ② 平成17年 1月15日 | 第14号発行（A4版） | 1,000部 |
| ③ 平成17年 3月15日 | 第15号発行（A4版） | 1,000部 |
| ④ 平成17年 5月15日 | 第16号発行（A4版） | 1,000部 |
| ⑤ 平成17年 7月15日 | 第17号発行（A4版） | 1,000部 |
| ⑥ 平成17年 9月15日 | 第18号発行（A4版） | 1,000部 |

4. 会員募集

(1) 新規会員拡大及び会員と財団との交流を目的として、第4期に引き続き、会員イベントを開催した。

事業名：第2回 こしじ水と緑の会の集い

期 日：平成17年 4月13日（水）午後7時～9時30分

会 場：東京グリーンホテル水道橋店

内 容：①財団の近況報告 ②財団の活動紹介（助成団体活動紹介：ブラックバス問題新潟研究会 井上信夫氏） ③懇親会（立食形式）

参加者：①会員 27名 ②非会員 65名（内、23名から新規入会を得た）

③役員、事務局 20名 総参加者数 112名

(2) 第5期末の会員数は以下の通りであった。（平成17年9月30日現在）

（参考）第4期末の会員数

- | | | | |
|--------|------|--------|------|
| ① 個人会員 | 634名 | ① 個人会員 | 642名 |
|--------|------|--------|------|

(財) こしじ水と緑の会

② 法人会員	107名	② 法人会員	93名
	計 741名		計 735名

5. 収益事業

- ① 財団所有の建物の一階部について朝日商事（株）と賃貸契約を締結・継続した。
当該物件の震災修理費（一次・二次工事分）として、685,692円を支出した。
- ② 朝日酒造株式会社の迎賓館「松籟閣」が大規模被災したため、今期の委託管理契約は「庭園の維持管理」に限り、委託管理料も半額の157,500円/月にて契約内容を変更し、受託した。

6. 土地取得のための積立て

第5期予算書の土地取得のための引当金額の積み立てを行った。

山林取得積立預金 2,000,000円

7. 基本財産の充実

財団の健全運営を目的として、会員拡大と平行して寄附金を募った。期末（9月30日現在）の寄附合計は以下の通りである。

(1) 法人寄付	14件	294,560円
(2) 個人寄付	57件	507,600円
(3) 朝日酒造(株)	48件	18,364,907円
	合計 119件	19,167,067円
	うち基本財産への繰入	10,740,000円

8. その他

(1) イベントスタッフについて

- ・第5期の登録状況及び活動実績（平成17年4月～平成17年9月現在）

事業名：(財) こしじ水と緑の会「イベントスタッフ」登録制度

期 間：毎年4月1日～翌年3月末日までの1年間

登録者：平成17年度 39名

以上